

第55回愛媛地本定期大会

5月10日に急逝した合田書記長に黙祷 規制緩和反対闘争をやり抜く

(岡本執行委員長があいさつで)

2014年10月29日 第55回愛媛地本定期大会が愛媛県勤労会館で開きました。

10月29日(水)、愛媛県勤労会館、孔雀の間で、第55回愛媛地本定期大会を開きました。冒頭、正岡新居浜支部長の挨拶の中で、5月10日に急逝した合田書記長に哀悼の意を表し黙祷が捧げられました。



議長団には近鉄分会から雨宮代議員、近鉄東予分会から徳永代議員が選出され議事に入りました。来賓には、労働団体より連合愛媛の杉本会長、愛媛平和運動センターの松本議長、中予地区労センターの大原理事長、事業者団体からは全労済愛媛県本部の薬師神課長、労金松山支店の平尾次長、愛媛勤労会館の東支配人、社民党愛媛県連合より逢坂県議、中村市議、全自交本部より森田書記次長の9名を迎え、みなさんから激励と連帯の挨拶をいただきました。

黙祷の後、主催者あいさつに立った岡本五郎執行委員長は「故待鳥労連副委員長が文字通り命を削って奔走し成立させた現改正法にいたる運動など、規制緩和反対闘争を愛媛としてやり抜く」と強い決意を述べました。

全国から寄せられた連帯とお祝いのメッセージの紹介の後、森田書記次長の講演は「タクシー特措法の改正までの経過と今後の動向・問題点」と題して行われ、タクシー産業の置かれている現状とそれに至る経緯について分かりやすく説明していただくとともに、愛媛地本の今後の課題と取組についてもお話いただきました。

後の質疑討論でも代議員より発言があるなど組合員のみなさんが現状について考え行動するための一助となる講演となりました。

その後休憩を挟んで、資格審査、議事運営委員会より資格審査、議事日程の発表があり本大会の成立と議事日程を全体で確認しました。

続いて執行部より、活動報告、決算報告、会計監査報告がなされ、質疑討論の後、全ての議題が満場一致で承認されました。質疑討論の中では、自主管理闘争を続けている宇和島新さつき分会、松浦代議員より全組合員に対する感謝の言葉があり、今後も新さつきの闘争を支えて行くことが確認されました。

続いて提案事項に入り運動方針案、新年度予算案、争議権確立が提案され、満場一致で採択されました。

次に役員選考委員会より新役員の提案がなされ、質疑を行った後、2014年度新役員案が承認されました。

続いて「改正特措法と付帯決議を活かし、新たな時代のタクシー産業を創造しよう！」と記した大会スローガン及び労働環境の抜本改善へ向けての奮闘を声高に叫ぶ大会宣言を採択し、第55回となる愛媛地本定期大会は成功裏に終了となりました。